

# 西村國彦のゴルフ文化産業論

## 闘う弁護士・西村國彦の

10

## アイスランドの奇跡(その4)

西村國彦（にしむら・くにひこ）  
お酒は飲めないしカラオケも駄目との営業下手の弁護士。そんな男が40歳を迎える年、ゴルフを始めたことから人生も性格も激変。ゴルフ大好き仲間を求めるオーディッセイになって、世界を放浪。ゴルフエッセイも書く傍ら、法的に弱いゴルフ場会員たちの権利を守るために「新理論」を構築。ハゲタカ外資にも正面から戯いを挑み破撃。最近、ジャズの世界も覗いている。日本ゴルフ・ジャーナリスト協会理事。

ある力のある銀行法務部が、会員の主張を理解して、中立のスタンスをとろうとしたら、役員ルートで10カ所から、なんで「ゴールドマンの案に賛成しないのだ」というクレームが入ったという。

それほど、「今だけ、力だけ、自分だけ」の思想は、資金力をテコにし、日本企業に浸透していたのだ。

低利資金を借入したり、逆に外  
かなりの上場企業が、外資に食い  
込まれた。

だ実績をもとに、この世界的な変化、特にアメリカ的経営の変化の原因を次のように分析する。

これまでのような「分析」「論理」

「理性」に軸足をおいた数字中心の経営、いわば「サイエンス重視の意思決定」では、今日のよう複雑で不安定な世界(註)においてビジネスの舵取りはできないことがわかつってきたからだ、と。

112

現にアイスランドでは、世界の  
1%層が今まで確立してきたビジネ  
ネスマネジメントを完全に翻した(ジエ  
ラルド・コールマン、堤未果)。  
あのアメリカでも、強欲な金融  
資本主義に対する反省がなされ始  
めているという。

オリンピックは東京と札幌で開かれることになった。外国人たちがたくさん訪れ、東京はマンハッタンのように、人種のルツボになるのだろうか?

東京の土地は高止まる一方、オリンピック後大暴落の恐れもあるというのが、裁判所も認めた経済変動を認める立場。

アベノミクスのもとで、株を担保にお金を借りまる企業やそのオーナーは、株の評価が下がると経済的信用を失い、その企業を手放すに至ることは、最近

の7070の前選氏で審証された

他方ZOZOを引き受けたソフトバンク孫さんも、その基盤を自ら持つ株式に置く構造は、ZOZOと同じ。ゴールドマンやアラブの大金持ちが、孫さんを見限ったという。孫さんのメインバンクも揺らぐのか？

彼らの会社も、債務過剰で批判されてきたゴルフ場会社とそんなに変わらないのではないか。会員権も株式も値上がりしない限り、借金が頭在化するからだ。



悲劇を繰り返さないため、アイルランドに残る北と南を分けるフェンス

1 今なぜ「美意識」が必要なのか？

今回は、山口周氏の「世界のエリートはなぜ『美意識』を鍛えるのか？」（2017年7月光文社）を読みながら、同氏の問題意識を共有したい。

今や、グローバル企業の人材やニューヨークの知的専門職が、哲学を勉強するだけでなく、アートスクールやギャラリーに出入りしているという。

確かに日本でも、IT企業を売

団で海外公演をし、ミュージカルや能を演ずる男がいる。でも、これらはお金持ちの趣味の範囲の、いわば素人芸の類いに過ぎない話だ。

ところが山口氏は、世界のエリートは、極めて「功利的な目的」のために「美意識」を鍛えている、といふ。

「論理的にシロクロのはつきりつかない問題について答えを出さなければならぬとき、最終的に頼るのは個人の『美意識』しかな「い」からだというのは、かなり面白

トや哲学は、そろばん勘定に最も遠い世界の話に見えていた。少なくとも僕たちの大学一般教養課程レベルでは…。

世界のトップビジネスマンたちは、今まではアメリカのP.H.D資格を取ることがビジネスの常識だった。彼らは「経営にサイエンスを持ち込む」ことを推奨する経営「ソサル」の言に従って、ビジネススクールに留学していたはずだった。

なぜ今度は優秀な経営者になるためにアーツスクール通いをするた

つてつくられたライGCが世界ベスト100に返り咲いたのも、ゴルフ好きの僕としては嬉しい。さすがチャールズ・ダーウィンの兄弟ゴルファーが会員のクラブだ。

フランスのリセも含め、欧州のエリート校では、特に「哲学」に代表される「美意識の養成」が重んじられてきたという。P.H.D.という言葉も、Doctor of Philosophy（直訳は哲学博士）といって、教養部のリベラルアーツ系の最高学位だ。

確かにこの間、外資が暴れまく

目次

その1 日本人が諦めていること、ほか(2019年11月号)

その2 鍋とフライパン革命の意味、ほか(2019年12月号)

その3 近未來の組織問題は世界の課題、ほか(前号)

その4 (本号)

その5

つてお金と時間に余裕がある人が、いきなりクラシックの難曲を弾きこなすようになったという話も聞く。もともと投資銀行にいた人が、いつの間にか日本の古典建築の修復をやっていたりする話もある。

い。  
2 ビジネススクールから  
アートスクールへ

のだろうか？  
でもそんなアイデアは、別に目  
新しいものではないという。英国  
では、ゴルフでも有名なオックス  
ブリッジに代表されるエリート養  
成校は、この考え方を400年前か  
ら導入していたらしい。

1

20